

◎ 年報・課題委員会記事

五月二日、東京大学福武研究室において、

有賀喜左衛門・小池基之・福武直・大内力・

中野卓・森岡清美・島崎稔・松原治郎・蕪見

春彦・園田恭一、事務局から、藤木三千人、

が出席のもとに、本年度二回目の委員会がひ

らかれた。議題及決定事項は次の通りである。

1. 前の委員会で主題目「村落と政治体制」

のもとに年報執筆者の内定をみたが、そ

の執筆依頼交渉の結果は次のごとくである。

○独立論文(各三〇〜四〇枚)

明治以前 中村吉治 承諾

明治前期 神谷力 承諾

明治後期 交渉中

大正・昭和戦前 河村望 承諾

昭和戦後 綿谷勉 夫 承諾

農政 大内力 承諾

法律 交渉中

○動向(各一〇枚)

社会学(園田恭一)・民族学(野口武徳)

経済学(未定)・法律学(未定)

歴史学(未定)・地理学(未定)

この交渉中及未定のところはそれぞれ委員が

執筆依頼に努力し、次の依委会(五月三十日)

迄に決定をみるようにする。

尚、今年度の年報は大会における共同討議の
テキストにする事とも関連して、なるべく大
会開催一ヶ月前迄に発行されるようにもつて
ゆくため原稿切は6月末日迄とする。

2 今年度の年報編集事務は事務局ときりは

なし、前年度に引続いて中央大学の島崎稔

・田野崎昭夫が担当する。

3 本年度大会開催地は一応愛知大学のお世

話で愛知県の新田郡ということになっていた

が、会員の集り具合から考えて、一切の学

会が終わった十一月の中旬頃に東京でやつた

方がよいではないかの意向が強く出された。